

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長 (氏名) 十亀 猛
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 4,004 | 25.2 | 802 | 42.8 | 796 | 51.6 | 588 | 58.4 |
| 29年3月期第1四半期 | 3,199 | 6.9 | 561 | 24.6 | 525 | 22.1 | 371 | 32.9 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 686百万円 (112.2%) 29年3月期第1四半期 323百万円 (12.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 57.54 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 36.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 17,812 | 12,235 | 68.7 | 1,196.98 |
| 29年3月期 | 17,279 | 11,907 | 68.9 | 1,164.87 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,235百万円 29年3月期 11,907百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | — | — | 35.00 | 35.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 32.00 | 32.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,000 | 9.8 | 1,325 | 23.7 | 1,300 | 29.6 | 900 | 26.4 | 86.28 |
| 通期 | 14,000 | 3.4 | 2,650 | 4.2 | 2,600 | 3.6 | 1,800 | 3.7 | 172.09 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 30年3月期1Q | 14,000,000 株 | 29年3月期 | 14,000,000 株 |
| 30年3月期1Q | 3,777,874 株 | 29年3月期 | 3,777,874 株 |
| 30年3月期1Q | 10,222,126 株 | 29年3月期1Q | 10,222,254 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が堅調な個人消費や雇用環境に支えられて拡大を継続し、中国経済も持ち直しが見られる中、緩やかな回復基調となりました。また、わが国経済は、国内消費に伸び悩みが見られたものの、企業業績が順調に推移する中、雇用環境にも改善が見られ、回復基調となりました。

このような経済環境のもと、当社グループは「お客様の望む時に、望むモノを、望むコストで」お届けすることに強いこだわりを持ち、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」の実現に向けて、これからも全社一丸となって邁進して参ります。

販売面では、当社グループの主な市場である半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、引き続き積極的な設備投資の拡大に伴って受注量が順調に拡大し、工作機械、産業機械、建設機械市場におきましても、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高を大幅に上回る結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億4百万円（前年同期比25.2%増）となり、営業利益は8億2百万円（同42.8%増）、経常利益は7億96百万円（同51.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億88百万円（同58.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

(C P事業部)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けの継手及びクリーンなバルブ、ユニット製品等を生産しており、受注が前年を大幅に上回ったため、売上高は23億3百万円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント利益は7億67百万円（同45.0%増）となりました。

(G P事業部)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産し、ロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、堅調な需要が続いているため、売上高は15億63百万円（前年同期比5.8%増）となり、セグメント利益は4億72百万円（同7.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億33百万円増加し、178億12百万円となりました。これは、電子記録債権が5億6百万円、たな卸資産が65百万円、投資有価証券が1億33百万円増加した反面、現金及び預金が2億29百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加し、55億76百万円となりました。これは、主に買掛金が82百万円、未払金が2億59百万円増加したこと、未払法人税等が1億95百万円、長期借入金が1億4百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加し、122億35百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益5億88百万円と配当金支払い3億57百万円により、利益剰余金が2億30百万円増加し、その他有価証券評価差額金が97百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,096 | 2,867 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,090 | 3,984 |
| 電子記録債権 | 920 | 1,426 |
| 商品及び製品 | 342 | 318 |
| 仕掛品 | 490 | 544 |
| 原材料及び貯蔵品 | 888 | 923 |
| 繰延税金資産 | 79 | 148 |
| その他 | 228 | 283 |
| 流動資産合計 | 10,137 | 10,498 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,428 | 1,410 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 655 | 657 |
| 土地 | 2,164 | 2,164 |
| 建設仮勘定 | 108 | 183 |
| その他(純額) | 51 | 54 |
| 有形固定資産合計 | 4,409 | 4,469 |
| 無形固定資産 | 248 | 270 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,962 | 2,095 |
| 長期貸付金 | 12 | 7 |
| 関係会社長期貸付金 | 31 | 27 |
| 生命保険積立金 | 84 | 86 |
| 繰延税金資産 | 280 | 243 |
| その他 | 112 | 112 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 2,483 | 2,573 |
| 固定資産合計 | 7,141 | 7,313 |
| 資産合計 | 17,279 | 17,812 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 756 | 838 |
| 短期借入金 | 454 | 447 |
| 未払金 | 278 | 538 |
| 未払法人税等 | 495 | 299 |
| 賞与引当金 | — | 211 |
| 役員賞与引当金 | 43 | — |
| その他 | 218 | 218 |
| 流動負債合計 | 2,246 | 2,553 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,395 | 1,291 |
| 退職給付に係る負債 | 1,251 | 1,269 |
| 役員退職慰労引当金 | 249 | — |
| 長期未払金 | — | 233 |
| 資産除去債務 | 70 | 70 |
| 長期預り保証金 | 158 | 158 |
| 固定負債合計 | 3,125 | 3,023 |
| 負債合計 | 5,371 | 5,576 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,564 | 1,564 |
| 資本剰余金 | 618 | 618 |
| 利益剰余金 | 12,452 | 12,683 |
| 自己株式 | △2,992 | △2,992 |
| 株主資本合計 | 11,643 | 11,873 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 215 | 313 |
| 為替換算調整勘定 | 48 | 48 |
| その他の包括利益累計額合計 | 264 | 362 |
| 純資産合計 | 11,907 | 12,235 |
| 負債純資産合計 | 17,279 | 17,812 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,199 | 4,004 |
| 売上原価 | 2,164 | 2,697 |
| 売上総利益 | 1,034 | 1,306 |
| 販売費及び一般管理費 | 473 | 504 |
| 営業利益 | 561 | 802 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 14 | 10 |
| 複合金融商品評価益 | 35 | 0 |
| 受取保険金 | — | 41 |
| その他 | 4 | 3 |
| 営業外収益合計 | 53 | 55 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 2 |
| 為替差損 | 51 | 0 |
| 持分法による投資損失 | 28 | 12 |
| 支払補償費 | — | 39 |
| その他 | 5 | 6 |
| 営業外費用合計 | 89 | 61 |
| 経常利益 | 525 | 796 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 13 | — |
| 特別損失合計 | 13 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 512 | 796 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 195 | 284 |
| 法人税等調整額 | △55 | △75 |
| 法人税等合計 | 140 | 208 |
| 四半期純利益 | 371 | 588 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 371 | 588 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 371 | 588 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △42 | 97 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △5 | 0 |
| その他の包括利益合計 | △48 | 97 |
| 四半期包括利益 | 323 | 686 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 323 | 686 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|---------|-------|------------|-------|
| | C P 事業部 | G P 事業部 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,657 | 1,478 | 3,136 | 63 | 3,199 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 0 | 0 | - | 0 |
| 計 | 1,657 | 1,478 | 3,136 | 63 | 3,199 |
| セグメント利益 | 529 | 438 | 967 | 25 | 993 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 967 |
| 「その他」の区分の利益 | 25 |
| セグメント間取引消去 | △14 |
| 全社費用(注) | △442 |
| 棚卸資産の調整額 | 26 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 561 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|------------|-------|
| | CP事業部 | GP事業部 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,300 | 1,563 | 3,864 | 139 | 4,004 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2 | 0 | 2 | — | 2 |
| 計 | 2,303 | 1,563 | 3,867 | 139 | 4,006 |
| セグメント利益 | 767 | 472 | 1,239 | 31 | 1,270 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,239 |
| 「その他」の区分の利益 | 31 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用(注) | △465 |
| 棚卸資産の調整額 | △3 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 802 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントの区分を「CP事業部」、「GP事業部」、「IPEC事業部」の3つの事業部別報告セグメントとしておりましたが、平成29年5月21日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、「CP事業部」、「GP事業部」の2つの事業部別報告セグメントに変更することとしました。

「IPEC事業部」に含まれていたIPEC静岡事業所は「CP事業部」に、「IPEC事業部」に含まれていたIPEC岐阜事業所は「GP事業部」になります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。